



2023年8月8日

各 位

会社名 三菱製鋼株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 山口 淳
(コード番号 5632 東証プライム市場)
問合せ先 上席執行役員経理部長 柳 沼 康 一
(TEL. 03-3536-3135)

(訂正・数値データ修正) 「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の
一部訂正について

当社は、2023年5月15日に開示いたしました「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2023年8月8日)付「過年度の有価証券報告書等に係る訂正報告書の提出(過年度決算の訂正)に関するお知らせ」にて開示しておりますので、ご参照ください。

2. 訂正による過年度業績への影響額

訂正箇所は_____を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月15日

上場会社名 三菱製鋼株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5632 URL <https://www.mitsubishisteel.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 山口 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 柳 沼 康 一 (TEL) 03(3536)3135
 定時株主総会開催予定日 2023年6月28日 配当支払開始予定日 2023年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	170,537	16.6	5,547	△11.5	3,743	△35.2	2,190	△46.2
2022年3月期	146,292	49.6	6,270	—	5,780	—	4,068	—
(注) 包括利益	2023年3月期		1,973百万円 (△53.7%)		2022年3月期		4,263百万円 (—%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率	
	円 銭	円 銭	%	%	%	
2023年3月期	142.62	—	5.1	2.5	3.3	
2022年3月期	264.78	—	10.0	4.2	4.3	
(参考) 持分法投資損益	2023年3月期		23百万円	2022年3月期		0百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産		
	百万円	百万円	%	円 銭		
2023年3月期	156,409	49,688	27.8	2,831.47		
2022年3月期	142,962	48,913	30.0	2,791.49		
(参考) 自己資本	2023年3月期		43,479百万円	2022年3月期		42,866百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	△2,777	△1,439	14,789	30,599
2022年3月期	△1,924	1,967	△3,523	19,951

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	10.00	—	40.00	50.00	771	18.9	1.9
2023年3月期	—	10.00	—	40.00	50.00	771	35.1	1.8
2024年3月期(予想)	—	25.00	—	35.00	60.00		30.7	

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	80,000	△2.8	3,500	105.8	2,200	28.4	1,200	△11.5	78.15
通期	165,000	△3.2	8,000	44.2	5,500	46.9	3,000	37.0	195.36

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）— 、除外 一社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	15,709,968株	2022年3月期	15,709,968株
② 期末自己株式数	2023年3月期	354,074株	2022年3月期	353,774株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	15,356,037株	2022年3月期	15,367,053株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	90,036	16.6	7,352	△4.8	3,199	△36.6	1,738	△63.8
2022年3月期	77,222	56.1	7,722	—	5,045	—	4,796	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期	113.19		—					
2022年3月期	312.15		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2023年3月期	97,397		33,354		34.2	2,172.10		
2022年3月期	80,340		32,763		40.8	2,133.56		

(参考) 自己資本 2023年3月期 33,354百万円 2022年3月期 32,763百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、本予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(収益認識関係)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. 補足情報(連結)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

【経営成績】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
2023年3月期	170,537	5,547	3,743	2,190	142.62円
2022年3月期	146,292	6,270	5,780	4,068	264.78円
増減	24,245	△723	△2,036	△1,878	

当連結会計年度（2022年4月～2023年3月）における当社グループを取り巻く経営環境について、自動車業界では、上海ロックダウンや長引く半導体等の部品不足の影響を受けたものの、生産台数の回復が進みました。また建設機械業界では、需要は引き続き堅調に推移しました。調達面では、高騰していた鉄鉱石・原料炭市況は一時期に比べると落ち着きをみせています。また、昨年急速に進行した円安も第4四半期では解消傾向にあるものの、依然として前年の水準までには戻っておらず、輸入原材料価格は前期と比較し高い水準が続いています。加えて、エネルギー価格の高騰も続いています。

このような状況下、当社グループの連結売上高は、原材料価格高騰に伴う売価転嫁等により、前期比242億4千5百万円（16.6%）増収の1,705億3千7百万円となりました。連結営業利益は、前期比7億2千3百万円（11.5%）減益の55億4千7百万円となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比18億7千8百万円（46.2%）減益の21億9千万円となりました。セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

セグメント別状況

(単位：百万円)

	2023年3月期		2022年3月期		前期比増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高		営業利益	
特殊鋼鋼材事業	100,145	6,350	86,503	6,615	13,642	15.8%	△264	△4.0%
ばね事業	59,858	△2,166	48,555	△1,827	11,303	23.3%	△338	—
素形材事業	10,210	522	10,357	857	△147	△1.4%	△334	△39.1%
機器装置事業	10,303	725	9,584	560	718	7.5%	164	29.4%
その他の事業	3,563	107	3,802	102	△239	△6.3%	5	5.5%
小計	184,081	5,539	158,803	6,307				
調整額	△13,544	8	△12,511	△36				
合計	170,537	5,547	146,292	6,270	24,245	16.6%	△723	△11.5%

特殊鋼鋼材事業の売上高は、前期比136億4千2百万円（15.8%）増収の1,001億4千5百万円となりました。国内では建設機械向け以外の需要減により売上数量が減少したものの、インドネシア海外事業の需要は好調に推移しました。また、国内外の原材料価格やエネルギー価格の高騰及び円安進行に対する売価転嫁が進みました。営業利益は、前期比2億6千4百万円（4.0%）減益の63億5千万円となりました。インドネシア海外事業では設備改造による品質・コスト改善とそれに伴う売上増の効果もあり増益となったものの、国内事業は売上数量減により減益となりました。

ばね事業の売上高は、前期比113億3百万円（23.3%）増収の598億5千8百万円となりました。自動車向けでは、上海ロックダウン及び半導体等の需給ひっ迫の影響があったものの生産は徐々に回復が進んでおり、建設機械向け需要も堅調に推移しました。また、原材料やエネルギー価格等の高騰に対する売価転嫁についても、国内及び北米で交渉が大きく進捗、円安による換算影響も寄与しました。営業利益は、前期比3億3千8百万円損失が拡大し、21億6千6百万円の損失（前期は営業損失18億2千7百万円）となりました。円安に伴う調達コストの増加が主な要因です。

なお、北米子会社は生産混乱の影響等により第3四半期まで損失の拡大が続いていましたが、足元では安定在庫確保等の施策進捗により混乱の解消が進んでいます。また、不採算製品の値上げ及び取引解消を含む交渉が進捗したことにより、第4四半期の損益が大幅に改善しました。

素形材事業の売上高は、前期比1億4千7百万円（1.4%）減収の102億1千万円となりました。特殊合金粉末の売価改善や新規品の受注があったものの、鋳鋼製品（エスコ）生産終了や自動車内燃機関向け部品の顧客在庫調整の影響に伴う売上数量減がありました。営業利益は、前期比3億3千4百万円（39.1%）減益の5億2千2百万円となりました。

た。売上数量の減少と売価改善が原材料価格等の上昇に追い付かなかったことが主要因です。

機器装置事業の売上高は、前期比7億1千8百万円（7.5%）増収の103億3百万円となりました。前期に計上した鍛圧機械大型案件の売上減があったものの、洋上風力発電関連機器等の売上が増加しました。営業利益は、前期比1億6千4百万円（29.4%）増益の7億2千5百万円となりました。洋上風力発電関連機器等の売上増と生産性向上が寄与しました。

その他の事業は、流通及びサービス業等ではありますが、売上高は、前期比2億3千9百万円（6.3%）減収の35億6千3百万円、営業利益は、前期比5百万円（5.5%）増益の1億7百万円となりました。

（2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、借入金による現金同等物の増加により、前連結会計年度末に比べ134億4千7百万円増加し、1,564億9百万円となりました。当連結会計年度末の負債総額は、長期借入金の増加により、前連結会計年度末に比べ126億7千2百万円増加し、1,067億2千1百万円となりました。当連結会計年度末の純資産は、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ7億7千4百万円増加し、496億8千8百万円となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度のキャッシュ・フローは営業活動による27億7千7百万円の支出、投資活動で14億3千9百万円の支出、財務活動では147億8千9百万円の収入となりました。

この結果、現金及び現金同等物は当連結会計年度に106億4千8百万円増加し、当連結会計年度末残高は305億9千9百万円となりました。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

税金等調整前当期純利益47億2千6百万円、減価償却費40億7千1百万円等の収入があった一方、法人税等の支払額45億8千3百万円、未収入金の増加35億6千1百万円、棚卸資産の増加32億8千4百万円等の支出がありましたので、営業活動全体として27億7千7百万円の支出となりました。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資有価証券の売却による収入11億6千5百万円があった一方、有形固定資産の取得による支出25億5千3百万円等の支出がありましたので、投資活動全体として14億3千9百万円の支出となりました。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

長期借入金の返済89億7千5百万円、リース債務の返済5億6千2百万円等の支出があった一方、借入金による収入280億3千万円等の収入がありましたので財務活動全体として147億8千9百万円の収入となりました。

（4）今後の見通し

当社グループの主要な取引先である建設機械業界においては、堅調な需要が続いていたものの、足元では一部地域で需要が減少しています。一方で、自動車業界では今後、長期化している半導体等の部品不足の影響からの挽回生産が期待されます。調達面では、高騰が続いていた原材料市況や昨年度大幅に円安が進行した為替相場は、一時期に比べると落ち着きを見せているものの、世界的なインフレによりエネルギー価格をはじめ各種コストの高騰が続いています。

こうした状況のなか、当社グループの2024年3月期の通期業績見通しについて、売上高は、ばね事業において自動車業界向け需要の回復や前期後半に行った売価改善の効果がある一方で、特殊鋼鋼材事業において、建設機械向けの需要減等により、前期比減収を見込んでいます。営業利益は、特殊鋼鋼材事業における売上数量減の影響や前期に計上した在庫評価益の減少等があるものの、北米ばね子会社において生産混乱解消や不採算製品の値上げ等が進んだことで、ばね事業の損益が大幅に改善し黒字転換を見込んでいることから、全体として増益となる見込みです。

以上のことを踏まえ、2024年3月期の業績予想は連結売上高1,650億円、連結営業利益80億円、連結経常利益55億円、親会社株主に帰属する当期純利益30億円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,973	25,621
受取手形、売掛金及び契約資産	33,275	31,861
電子記録債権	5,532	4,899
有価証券	—	5,000
商品及び製品	12,359	14,060
仕掛品	6,720	7,851
原材料及び貯蔵品	10,014	11,154
その他	2,494	5,422
貸倒引当金	△29	△63
流動資産合計	90,339	105,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,860	8,069
機械装置及び運搬具（純額）	11,993	12,431
土地	14,319	14,707
リース資産（純額）	1,010	1,045
その他（純額）	2,534	1,638
有形固定資産合計	38,719	37,893
無形固定資産		
その他	1,002	744
無形固定資産合計	1,002	744
投資その他の資産		
投資有価証券	6,335	5,298
退職給付に係る資産	4,873	4,777
その他	1,693	1,887
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	12,901	11,964
固定資産合計	52,622	50,601
資産合計	142,962	156,409
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,553	16,247
電子記録債務	5,072	4,924
短期借入金	25,193	20,339
リース債務	545	550
未払法人税等	3,138	910
契約負債	1,371	1,300
役員賞与引当金	85	—
火災関連損失引当金	869	—
その他	5,544	5,115
流動負債合計	57,373	49,388
固定負債		
長期借入金	22,312	44,587
リース債務	1,510	1,172
役員退職慰労引当金	83	96
役員株式給付引当金	7	—

事業整理損失引当金	349	128
退職給付に係る負債	9,250	8,697
その他	3,161	2,651
固定負債合計	36,675	57,332
負債合計	94,048	106,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,003	10,003
資本剰余金	2,701	2,236
利益剰余金	33,436	34,855
自己株式	△1,301	△1,301
株主資本合計	44,840	45,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	804	435
為替換算調整勘定	△3,602	△3,679
退職給付に係る調整累計額	824	929
その他の包括利益累計額合計	△1,973	△2,313
非支配株主持分	6,047	6,208
純資産合計	48,913	49,688
負債純資産合計	142,962	156,409

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	146,292	170,537
売上原価	125,394	147,279
売上総利益	20,897	23,257
販売費及び一般管理費	14,626	17,710
営業利益	6,270	5,547
営業外収益		
受取利息	11	47
受取配当金	152	111
持分法による投資利益	0	23
為替差益	358	—
雇用調整助成金	69	—
その他	424	491
営業外収益合計	1,017	674
営業外費用		
支払利息	1,268	1,187
為替差損	—	942
その他	239	347
営業外費用合計	1,507	2,478
経常利益	5,780	3,743
特別利益		
火災関連損失引当金戻入額	—	148
固定資産売却益	947	—
投資有価証券売却益	3,249	632
固定資産処分益	—	2
受取保険金	1,337	884
役員退職慰労引当金戻入額	—	4
特別利益合計	5,534	1,673
特別損失		
減損損失	269	551
火災関連損失	1,501	—
火災関連損失引当金繰入額	869	—
事業整理損失引当金繰入額	174	134
その他	50	4
特別損失合計	2,865	690
税金等調整前当期純利益	8,448	4,726
法人税、住民税及び事業税	3,146	2,449
法人税等調整額	1,068	△39
法人税等合計	4,214	2,409
当期純利益	4,234	2,317
非支配株主に帰属する当期純利益	165	127
親会社株主に帰属する当期純利益	4,068	2,190

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年 4 月 1 日 至 2022年 3 月31日)	当連結会計年度 (自 2022年 4 月 1 日 至 2023年 3 月31日)
当期純利益	4,234	2,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,315	△367
為替換算調整勘定	24	△39
退職給付に係る調整額	2,312	61
持分法適用会社に対する持分相当額	8	0
その他の包括利益合計	29	△344
包括利益	4,263	1,973
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,043	1,850
非支配株主に係る包括利益	220	122

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,003	2,714	29,519	△1,271	40,965
会計方針の変更による累積的影響額			3		3
会計方針の変更を反映した当期首残高	10,003	2,714	29,522	△1,271	40,969
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△13			△13
剰余金の配当			△154		△154
親会社株主に帰属する当期純利益			4,068		4,068
自己株式の取得				△29	△29
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△13	3,914	△29	3,870
当期末残高	10,003	2,701	33,436	△1,301	44,840

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,120	△3,580	△1,487	△1,948	5,876	44,894
会計方針の変更による累積的影響額					2	5
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,120	△3,580	△1,487	△1,948	5,878	44,899
当期変動額						
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					13	—
剰余金の配当						△154
親会社株主に帰属する当期純利益						4,068
自己株式の取得						△29
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,315	△21	2,312	△25	155	△130
当期変動額合計	△2,315	△21	2,312	△25	169	4,016
当期末残高	804	△3,602	824	△1,973	6,047	48,913

当連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,003	2,701	<u>33,436</u>	△1,301	<u>44,840</u>
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	10,003	2,701	<u>33,436</u>	△1,301	<u>44,840</u>
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△464			△464
剰余金の配当			△771		△771
親会社株主に帰属する当期純利益			2,190		2,190
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△464	1,418	△0	953
当期末残高	10,003	2,236	<u>34,855</u>	△1,301	<u>45,793</u>

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	804	<u>△3,602</u>	824	<u>△1,973</u>	6,047	<u>48,913</u>
会計方針の変更による累積的影響額						—
会計方針の変更を反映した当期首残高	804	<u>△3,602</u>	824	<u>△1,973</u>	6,047	<u>48,913</u>
当期変動額						
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					284	△180
剰余金の配当						△771
親会社株主に帰属する当期純利益						2,190
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△368	<u>△77</u>	105	<u>△340</u>	△123	<u>△463</u>
当期変動額合計	△368	<u>△77</u>	105	<u>△340</u>	161	<u>774</u>
当期末残高	435	<u>△3,679</u>	<u>929</u>	<u>△2,313</u>	6,208	<u>49,688</u>

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	8,448	4,726
減価償却費	3,702	4,071
減損損失	269	551
雇用調整助成金	△69	—
火災関連損失	1,501	—
受取保険金	△1,337	△884
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	32
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	85	△85
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,217	68
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△1,254	△320
火災関連損失引当金の増減額 (△は減少)	869	△149
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	174	134
その他の引当金の増減額 (△は減少)	—	34
受取利息及び受取配当金	△164	△159
支払利息	1,268	1,187
為替差損益 (△は益)	128	816
持分法による投資損益 (△は益)	△0	△23
固定資産処分損益 (△は益)	△938	△28
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,249	△632
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,539	2,320
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,897	△3,284
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,231	316
未収入金の増減額 (△は増加)	△317	△3,561
その他	△624	△2,051
小計	△493	3,079
利息及び配当金の受取額	164	159
利息の支払額	△1,267	△1,079
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	7	△4,583
特別退職金の支払額	△137	△129
雇用調整助成金の受取額	73	—
受取保険金の受取額	1,337	884
火災関連損失の支払額	△1,501	△719
その他の支出	△108	△387
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,924	△2,777

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△24	△24
定期預金の払戻による収入	24	24
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	4,418	1,165
有形固定資産の取得による支出	△2,464	△2,553
有形固定資産の売却による収入	69	85
無形固定資産の取得による支出	△68	△146
無形固定資産の売却による収入	40	—
長期前払費用の取得による支出	△0	△0
貸付けによる支出	△48	△17
貸付金の回収による収入	54	35
その他	△33	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,967	△1,439
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,373	△2,740
長期借入れによる収入	3,000	28,030
長期借入金の返済による支出	△8,193	△8,975
自己株式の取得による支出	△29	△0
非支配株主への配当金の支払額	△10	△10
リース債務の返済による支出	△1,511	△562
配当金の支払額	△151	△769
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△180
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,523	14,789
現金及び現金同等物に係る換算差額	452	74
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,028	10,648
現金及び現金同等物の期首残高	22,979	19,951
現金及び現金同等物の期末残高	19,951	30,599

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会・経営会議が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は製品別に事業部を設け、各事業部は、取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「特殊鋼鋼材事業」、「ばね事業」、「素形材事業」及び「機器装置事業」の4つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要な製品は次のとおりであります。

報告セグメント	主要製品名等
特殊鋼鋼材	特殊鋼鋼材（炭素鋼、低合金鋼、ばね鋼、非調質鋼、軸受鋼、快削鋼、工具鋼、窒化鋼）
ばね	巻ばね、スタビライザ、板ばね、トーションバー、コイルドウェーブスプリング、精密ばね、各種ヒンジ製品、精密プレス品、樹脂成形品、プレス組立品、シュープレート用ゴムパッド、タイヤプロテクター、タイヤチェーン他各種自動車・建設機械用補修部品・用品
素形材	特殊合金粉末、同微粉末、精密鑄造品、精密機械加工品、鋳鋼品、一般鍛鋼品、特殊合金素材及び同加工品
機器装置	鍛圧機械、産業機械、鉄構品、環境リサイクル機器

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

I 前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額
	特殊鋼 鋼材	ばね	素形材	機器装置				
売上高								
外部顧客への売上高	76,970	48,533	10,203	9,235	1,349	146,292	—	146,292
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,533	22	153	348	2,453	12,511	△12,511	—
計	86,503	48,555	10,357	9,584	3,802	158,803	△12,511	146,292
セグメント利益又は 損失(△)(注) 4	6,615	△1,827	857	560	102	6,307	△36	6,270
セグメント資産(注) 3	64,866	45,239	11,236	16,834	3,265	141,441	1,520	142,962
のれん償却額	—	—	—	—	—	—	—	—
減価償却費	1,436	1,381	581	233	69	3,702	—	3,702
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	481	1,873	137	126	17	2,636	—	2,636

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

2. 売上高の調整額は、内部取引の調整額等であります。セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント資産の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

4. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額
	特殊鋼 鋼材	ばね	素形材	機器装置				
売上高								
外部顧客への売上高	89,342	59,836	9,952	10,014	1,391	170,537	—	170,537
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,803	22	258	288	2,171	13,544	△13,544	—
計	100,145	59,858	10,210	10,303	3,563	184,081	△13,544	170,537
セグメント利益又は 損失(△)(注) 4	6,350	△2,166	522	725	107	5,539	8	5,547
セグメント資産(注) 3	66,244	59,035	11,296	16,122	3,152	155,852	557	156,409
のれん償却額	—	—	—	—	—	—	—	—
減価償却費	1,499	1,715	567	212	77	4,071	—	4,071
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,296	839	186	421	53	2,797	—	2,797

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

2. 売上高の調整額は、内部取引の調整額等であります。セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント資産の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

4. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	全社・ 消去	合計
	特殊鋼鋼材	ばね	素形材	機器装置	計			
減損損失	—	269	—	—	269	—	—	269

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	全社・ 消去	合計
	特殊鋼鋼材	ばね	素形材	機器装置	計			
減損損失	—	551	—	—	551	—	—	551

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	特殊鋼 鋼材	ばね	素形材	機器装置		
売上高						
日本	67,252	19,750	6,340	7,345	1,349	102,038
北米	—	18,563	324	—	—	18,888
アジア	9,717	7,599	2,644	244	—	20,206
欧州	—	2,561	880	1,631	—	5,073
その他	—	57	13	13	—	85
顧客との契約から生じる収益	76,970	48,533	10,203	9,235	1,349	146,292
外部顧客への売上高	76,970	48,533	10,203	9,235	1,349	146,292

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	特殊鋼 鋼材	ばね	素形材	機器装置		
売上高						
日本	77,310	22,647	5,433	9,338	1,391	116,121
北米	23	23,410	404	—	—	23,838
アジア	12,008	10,326	3,399	473	—	26,208
欧州	—	3,390	695	201	—	4,287
その他	—	62	19	—	—	82
顧客との契約から生じる収益	89,342	59,836	9,952	10,014	1,391	170,537
外部顧客への売上高	89,342	59,836	9,952	10,014	1,391	170,537

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	2,791円49銭	2,831円48銭
1株当たり当期純利益	264円78銭	142円62銭

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 「役員報酬BIP信託」が保有する当社株式を「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。「役員報酬BIP信託」に係る自己株式数は、前連結会計年度81,856株、当連結会計年度81,856株であります。また、「1株当たり当期純利益」の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度71,069株、当連結会計年度81,856株であります。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益	4,068	2,190
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	4,068	2,190
普通株式の期中平均株式数(株)	15,367,053	15,356,037

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当連結会計年度末 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	48,913	49,688
純資産の部の合計額から控除する金額の内訳		
非支配株主持分(百万円)	6,047	6,208
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	42,866	43,479
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	15,356,194	15,355,894

(重要な後発事象)

該当する事項はありません。

4. 補足情報(連結)

(金額単位=百万円)

1. 業績

	通期				通期		
	前期	当期	前年度比増減		当期実績	※来期予想	
	2021年4月-2022年3月	2022年4月-2023年3月	増減率(%)		2023年3月期	2024年3月期	増減率(%)
売上高	146,292	170,537	24,245	16.6	170,537	165,000	△3.2
営業利益	6,270	5,547	△723	△11.5	5,547	8,000	44.2
経常利益	5,780	3,743	△2,036	△35.2	3,743	5,500	46.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,068	2,190	△1,878	△46.2	2,190	3,000	37.0

※2023年5月15日公表

1株当たり当期純利益	264.78	142.62	142.62	195.36
------------	--------	--------	--------	--------

2. 四半期毎の業績推移

	前期 (2022年3月期)				当期 (2023年3月期)			
	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)
売上高	31,786	34,135	38,409	41,960	39,889	42,443	44,114	44,089
営業利益	1,596	1,140	1,914	1,619	832	867	1,173	2,673
経常利益	1,380	967	1,797	1,634	863	849	232	1,797
親会社株主に帰属する 四半期純損益	3,333	△1,030	1,121	645	422	933	△121	955

3. セグメント別売上高推移

	前期 (2022年3月期)				当期 (2023年3月期)			
	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)
特殊鋼鋼材	18,214	21,606	22,691	23,990	23,908	24,621	27,460	24,154
ばね	10,827	10,940	12,283	14,504	13,469	14,839	14,608	16,941
素形材	2,624	2,333	2,783	2,616	2,814	2,705	2,419	2,271
機器装置	1,968	1,645	2,799	3,169	1,709	2,820	1,993	3,780
その他	1,032	956	868	944	859	928	904	871
調整額	△2,881	△3,346	△3,017	△3,265	△2,870	△3,473	△3,270	△3,929
合計	31,786	34,135	38,409	41,960	39,889	42,443	44,114	44,089

4. 要約連結貸借対照表

科目	前期	当期	増減	科目	前期	当期	増減
	2022年3月末	2023年3月末			2022年3月末	2023年3月末	
流動資産	90,339	105,808	15,468	負債	94,048	106,721	12,672
現預金等	19,973	30,621	10,648	営業負債	20,625	21,172	546
営業債権	38,808	36,760	△2,047	有利子負債	47,505	64,926	17,420
棚卸資産	29,093	33,066	3,972	その他	25,917	20,622	△5,294
その他	2,464	5,359	2,894				
固定資産	52,622	50,601	△2,021	純資産	48,913	49,688	774
有形固定資産	38,719	37,893	△825	株主資本	44,840	45,793	953
無形固定資産	1,002	744	△257	その他の 包括利益累計額	△1,973	△2,313	△340
投資その他資産	12,901	11,964	△937	非支配株主持分	6,047	6,208	161
資産合計	142,962	156,409	13,447	負債純資産合計	142,962	156,409	13,447